

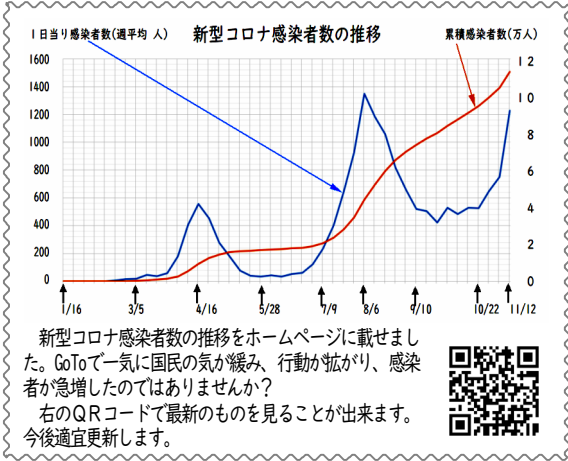


トンネルの上が陥没するのは分かっていた事

事故が起きるのだから。旧国鉄でトンネル建設した方の「トンネルものがたり」(山海堂)を読んでビックリ。トンネル工事先端部では掘ると地山が崩れて来るの

10月半ば、東京都調布市の住宅前の道が縦5m横3mに涉り深さ5m陥没。東日本高速道路会社の外環道の地下トンネル工事が原因らしいが、同社は認めない。トンネル上の他の所で住宅の地下に長さ30m幅4m高さ3mの空洞も見つかった。住民の反対をよそに地下40m以上の「大深度なので許可不要」と住民の了承無しにトンネルを掘った結果、技術の進歩した今、どうして陥没事故が起きるのだから。旧国鉄でトンネル建設した方の「トンネルものがたり」(山海堂)を読んでビックリ。

10月半ば、東京都調布市の住宅前の道が縦5m横3mに涉り深さ5m陥没。今回のトンネルは地下深い。工事現場に崩れた土砂で地下に空洞が発生。地盤沈下や陥没に至る。これは土木技術者の常識らしい。地下に空洞発生、地盤沈下、陥没が生じると技術者は掘る前に知らせるべきだった。「技術者の良心はどこ？」と問いたい。あなたはどう思われますか？



山下公園前のいちよう

横浜市中区山下公園前

二〇二〇年十一月

いちようの並木の続く山下公園前や日本大通りは、今、黄葉の真っ盛り。

この季節には例年写生をする人がぎっしりなので、朝早くからかけた。

しかし、新型コロナウイルスの為に、午前中は歩く人も殆どいない。

ホテルの従業員が道の落ち葉を掃いたり、時折、近くに住んでいるのか犬の散歩の人も。

ホテルニューグランド前のいちようはひときわ大きい。

コロナでこの辺りのホテルは大変だろうなあ・・・と思っていたら、左側のスターホテルは営業している様子がない。絵を描いているうちに、工用の囲いが作られてしまった。

近くのホテルに泊まったのか、背広姿の若者が「このいちようはすごい」と話していた。

